

東京人

2022年2月号（1月4日発売）

特集「東京の道路（環状線）都市の骨格にして大動脈」

知られざる“道”の歴史～道路の新たな可能性を開く一冊！

2020年6月に国交省が道路政策ビジョンを発表した。ことによると、近い将来、公園のような道路に人が溢れたり、「被災する道路」から「救援する道路」が生まれるのだから！？
ウィズコロナ、モビリティ革命に再開発・・・社会のうねりの渦中にある東京において、インフラネットワークのひとつとして機能する道路の役割が、今まさに見直されていることの表れだ。
本号では、特に環状線を中心にして、戦火や震災などを経てきた東京の道路の歴史や文化史を振り返り、さらには、産官学とさまざまに道路に関わる人びとの視点から道路空間の可能性、景観の変化、道路に求められるコミュニティ機能も考察する。

【主な内容】

- ◇「東京の骨格はこうにしてできた」文・越澤明
- ◇「環1～環8を徹底解説！」内田宗治／藤田哲史／磯部祥行 ほか
- ◇座談会「モビリティ革命がまちとライフスタイルを変える」
宇野善昌（国土交通省都市局長）× 柳瀬博一（東京工業大学リベラルアーツ研究教育院教授）
× 宮沢章夫（戯曲家、演出家）
- ◇道路を見に行く「いまだ建設中！関東大震災後に計画された道路たち」文・竹内正浩
- ◇「『多叉路』がおもしろい—交差するところに歴史あり」文・荻窪圭
- ◇「東京を支えたもうひとつの環状線——中央環状線を紐解く」文・高瀬文人
- ◇「さまざまな視点から 運転 or 走行が楽しい道路」 ぜつ（タクシー運転）／手栗栖崇（自転車）
- ◇道路の未来 「MaaSとは」文・高瀬文人 / 「道路空間の可能性」文・中川寛子
- ◇「日本橋の首都高地下化がいよいよ始動！」
- ◇「道路を整備・つくる現場！」

【ご注文先】 都市出版株式会社 TEL03-3237-1705 市川、久崎（ひさざき）行

FAX03-3237-7347

事前申し込み締切 12月9日

	冊	月刊「東京人」2022年2月号 特集「東京の道路（環状線） 都市の骨格にして大動脈」 雑誌コード 16725-02 定価 950円（本体 864円）
--	---	--